



# 描こう、この町の農業の未来予想図



**こんにちは!  
JAです。**

JAのこれからを一緒に考えるこの連載。わたしたちのJAは、「相互扶助」を基本に、農とくらしの総合事業を営む協同組合です。前回からは、わたしたちに関わりの深い「農業」をスタートに、JA事業について考えています。

## 農業を取り巻く新たな課題

ここ数年大きく変化する、国民の「食」に対する意識。輸入農畜産物の安全・安心への疑いや、世界的な食料不足への不安は、「日本の農業がんばれ」という声につながっています。農業者の高齢化、耕

作放棄地の拡大といった農業問題にも、大きな国民的関心が寄せられるなかで、どうしたら地域農業の将来を、元気で、活力のあるものにしていけるでしょうか。

## JAを中心に、 地域のチームワークを

行政や農業委員会、改良普及センターなど、多様な関係者に支えられる地域農業。JAは、従来の営農指導の幅を広げ、こうした関係者とのチームワークで地域農業の将来像を描いていきたいと考えています。10年後、20年後の地域農業を、誰が担うのか。そのような担い手を、地域ぐるみでどのように育てていくのか。わたしたちは、こうした問いのひとつひとつに確かな答えを探していきます。